

有意義な夏休みを

いよいよ21日より夏休みです。20日に終業式がありますが、午後は保護者の皆様と通知表渡し・保護者懇談となります。通知表の「学習のようす」の欄には、それぞれの教科等で学習した内容の各観点からお子様の状況を記載したり、顕著に表れた成果等を記述したりしてあります。「よかった、よくなかった」とだけ見るのではなく、どの教科のどんな観点で子どもの力が発揮されたのか、どんな成果が上がったのかなど、ご家庭に帰ってから、子どもがこの1学期に努力してきたことを、ぜひお子様とともにご確認ください。通知表をひとつのきっかけとして、お子様と学校生活についての会話を交わす機会とし、学習面や行動面の「よさを認め励ます材料」にしていいただければと考えます。

さて、子ども達が待ちに待った夏休みです。青い空、白い雲、そしてまぶしい太陽の光。いつの時代も、自由な時間にあふれている夏休みは、子ども達にとって夢のような時間です。42日間という長くて楽しい時間をどのように過ごすかを考えるだけでも、子ども達の心は弾んでいることでしょう。自然とふれあったり、何かを研究したり、作品を作ったり、普段ではなかなかできない体験や学習に、時間をかけてじっくりと取り組んでほしいと思います。

一方、夏休みは開放的な気分になりやすいことから、事故やトラブルに巻き込まれる心配も出てきます。また、生活リズムが乱れてしまうこともありがちなことです。学校から配付した「夏休みの生活」をもとにお子様と話し合い、夏休みのきまり等のご確認をお願いいたします。また、子ども達には「夏休みげんき生活カード」も配付いたしました。これを活用しながら、子ども達には規則正しい生活を送ってほしいと思っています。

長い夏休みですから、ゆっくりと休んだり、存分に遊んだりする日があってもよいと思いますが、無計画にただ何となく過ごしていたのでは有意義な夏休みとは言えません。科学研究であったり、作品作りであったり、苦手な教科の克服であったり、何か自分で目標を決めて取り組み、夏休みが終わった時に、「自分は夏休みにこれをがんばれた」という自信が持てる夏休みにしてほしいと願っています。保護者の皆様には、お子様が充実した夏休みを過ごせますよう、サポートの程よろしくお願いいたします。

最後になりましたが、1学期におきましては、保護者や地域の皆様には、本校の教育活動に対し、多大なるご支援とご協力をいただきました。大きな事故・トラブル等もなく無事に1学期を終えることができますのも、皆様方の日々の厚いサポートあってのことと、感謝申し上げます。まだまだこれからが夏本番で暑い日が続くと思いますが、皆様方におかれましても、体調には充分お気をつけお過ごしください。

本当にありがとうございました。



通知表の見方について

「よくできた」「できた」「もう少し」は・・・観点別絶対評価です

- ① 学習目標に対して、一人一人の達成度を見る評価をしています。
- ② 各学年の学習目標や内容、評価規準は、文部科学省が告示する学習指導要領を踏まえて作成しています。
- ③ 児童一人一人の学習状況を、きめ細かく分析的に正確にとらえるために、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点に分けて評価しています（国語はこれに書写が加わります）。



- ④ 「よくできた」は、学年目標を十分に達成し、さらに発展的にできている状態
「できた」は、学年目標をほぼ達成している、概ね満足している状態
「もう少し」は、もう少し努力すると学年目標に達する状態 です。



※ 観点別の達成状況を確認して、お子様をほめたり認めたり、さらに励ましたりしていただければと思います。

充実した楽しい夏休みにするために

～長い夏休みでなければできない体験を楽しみ、
自分で決めた目標を最後までやり遂げる充実感を味わおう～

- 生活
 - ・ 早寝早起きなど、規則正しい生活をしましょう。
 - ・ 時間を決めて学習し、学習習慣を継続しましょう。
 - ・ 宿題は計画的に取り組みましょう。
 - ・ テレビやゲームなども時間を決めて楽しみましょう。
- 安全
 - ・ 外出は家の人に行き先を告げ、帰宅時間を守りましょう。
 - ・ 危険な場所には絶対に近づきません。
 - ・ 子どもだけで校区外へは行きません。
 - ・ 知らない人の誘いには絶対に応じません。
- 健康
 - ・ うがい・手洗いを励行しましょう。
 - ・ 熱中症に注意しましょう
(帽子、マスクの着脱、暑さ指数)。
 - ・ 適度な運動をして、睡眠を十分にとりましょう。
 - ・ 食事は3食、バランスよくとりましょう。



※詳しくは、別途配付した「夏休みの生活」をご覧ください。

夏休みを安全に過ごすために

◇防犯教室

羽咋警察署生活安全課生活安全主任の皆見重光巡査部長と北川尻駐在所の河合健志巡査長をお招きして、防犯教室を実施しました。

始めに6年生教室に不審者が侵入したとの想定で対応訓練を行ったあと、全校で集まり、町で不審者と遭遇した時の対応や、万一不審者に身体をつかまれた時の対処方法について学びました。



夏休みを前に命を守るためのとてもいい学習ができました。

◇熱中症対策

今年の夏は梅雨も短く、6月下旬以降、大変暑い日が続いております。夏休みも猛暑となる見方が有力です。ご家庭でも充分にご注意されていることと存じますが、夏休みをより安全に過ごしていくための一つの参考として、環境省の「熱中症予防情報サイト」についてご紹介させていただきます。

この「熱中症予防情報サイト」にアクセスすると、都道府県単位で発表される「熱中症警戒アラート」が石川県で発表されているかどうか分かります。石川県では、今年これまでに6/29と7/2の2回発表されています。また、羽咋地区の暑さ指数(WBGT)が1時間毎に更新され、その指数によって熱中症を防ぐための生活や運動の行動指針を判断することができます(指数31以上になると要注意)。

「熱中症予防情報サイト」のURLは、<https://www.wbgt.env.go.jp> です。必要に応じて、ご活用

いただければと思います。

なお、熱中症対策にかかわって、毎日、子ども達の登下校の安全を見守って下さっている学校支援ボランティアの皆様には、街頭での交通安全指導の際には、マスクを外しても構わない旨お伝えいたしました。保護者・地域の皆様にはご理解の程、よろしく申し上げます。



羽咋地区の暑さ指数が表示されます。
(1時間ごとに更新)

気温 [参考]	暑さ指数 (WBGT)	熱中症予防運動指針
35℃以上	31以上	運動は原則中止。特別の場合以外は運動を中止する。特に子どもには中止を促す。
31～33℃	28～31	熱中症の危険性が高いので、激しい運動や持久走など体温が上昇しやすい運動は避ける。10～20分おきに休憩をとり水分・塩分の補給を行う。暑さに慣れた人は運動を継続または中止。
28～31℃	25～28	熱中症の危険が宿るので、積極的に休憩をとり涼しい場所を確保する。激しい運動では、30分おきくらいに休憩をとる。
24～28℃	21～25	熱中症による死亡事故が発生する可能性がある。熱中症が兆候に注意するとともに、運動の合間に積極的に水分・塩分を補給する。
24℃未満	21未満	通常は熱中症の危険は小さいが、高湿度・低気圧の時は注意。市販スポーツドリンクなどではこの条件でも熱中症が発生するので注意。

※暑さに弱い人・体力の弱い人、肥満の人や暑さに慣れていない人など
 (資料) 日本スポーツ協会「スポーツ活動中の熱中症予防ガイドブック」(2019)より

7月の学校の様子

1・2年生 外国語活動



3年生 スーパーマーケット見学



4年生 ゴミ処理施設見学



熱中症およびコロナ予防を意図したオンラインでの全校集会

